

2024年度第1回学習会を開催しました



2024年7月19日(金)秋田市の秋田キャッスルホテルを本会場に県内全6会場をオンラインで結び開催し、組合員・役職員80名が参加しました。

「一診一笑」をモットーにクリニックの院長を務める傍ら漫談家としてもご活躍されるすずきクリニック院長 鈴木裕之先生の講演「医者いらずの健康長寿法・クリニック漫談付」を行い、健康寿命を伸ばす取り組みと、笑いがもたらす効果について学びました。

健康寿命の延伸には「食事・運動・禁煙」が重要であるとし、ご自身も実践されている腹7分目の食事と、一日1万歩以上のウォーキング習慣をご紹介いただきました。さらに笑うことは死亡リスクや認知機能の低下を防ぎ、免疫力をアップさせるなど、笑いが心身にもたらす影響は医学的・心理学的にも立証されていると解説されました。先生のご講演自体がユーモアに溢れ終始笑いに包まれており、和やかな雰囲気の中、楽しみながら大切な知識を得ました。



開会挨拶 山野内会長理事



講演 鈴木裕之先生



オキナワ報告 田辺さん(左)三浦さん(右)



本会場の様子

続いてコープあきた職員の田辺清志郎さん、三浦洸二さんの「ピースアクション in オキナワ 第41回沖縄戦跡・基地めぐり参加報告」を行いました。今年3月に現地へ赴き沖縄戦の被爆体験者の話を聞いたり、戦跡を訪れ感じた平和への思いと、米軍嘉手納基地、辺野古テント村などの見学を通し沖縄の人々が直面している課題について考えさせられたこと等が報告されました。

秋田県生協連では、沖縄戦の実相を知り、現在の沖縄が抱える基地問題にも触れる貴重な機会として、これからもピースアクション in オキナワに取り組んでまいります。

ヒロシマの心を世界へ ～被爆79年 戦争も核兵器もない未来を～
8/4(日)～8/5(月) ピースアクション in ヒロシマへ4名を派遣します



79年前のきのこ雲の下での出来事、その前後の歴史や復興への歩みなど、ヒロシマだからこそ感じる被爆の実相や被爆者の思いに触れ改めて平和の尊さを考えるとともに、核兵器のない平和な世界を求める願いを全国の生協の仲間と世代を超えて共有します。県生協連からコープあきた組合員 猶橋千恵子さん・智花さん親子、秋田大学学生 木下桃花さん、コープあきた職員 柴田葵さんの4名を派遣します。後日、県生協連の主催行事で参加報告させていただきます。ピースアクション in ヒロシマ・ナガサキの特設サイトはこちらです
⇒⇒⇒<https://peace.jccu.coop/hiroshimanagasaki>



五城目町視察ツアーへ
参加しました
コープあきた主催

2014年に東京から移住し秋田県五城目町で町おこしに取り組んでおられるシェアビレッジ(株)代表取締役 丑田俊輔氏に第17回幹部役職員研修会でご講演いただいたことから、現地視察ツアーを7月4日(木)16日(火)の2回にわたり開催し、組合員・役職員35名が参加しました。

廃校を利用したシェアオフィス「BABAMEBASE」、茅葺古民家「シェアビレッジ」、遊休不動産を活用した「子どものあそび場」などを視察し、地域の住民を巻き込み新たな可能性を見出し続ける丑田氏の取り組みを学びました。生協が持続可能な地域に根ざした活動を担う組織を目指していくうえで、大変参考となりました。

